



平成26年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年5月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社スタジオアリス

コード番号 2305 URL <http://www.studio-alice.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川村 廣明

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理本部長 (氏名) 宗岡 直彦

TEL 06-6343-2600

四半期報告書提出予定日 平成26年5月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第1四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第1四半期	6,180	8.7	△1,195	—	△1,197	—	△894	—
25年12月期第1四半期	5,683	3.4	△982	—	△970	—	△690	—

(注) 包括利益 26年12月期第1四半期 △895百万円 (—%) 25年12月期第1四半期 △647百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第1四半期	△52.47	—
25年12月期第1四半期	△40.17	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭
26年12月期第1四半期	23,932		14,978		60.3	850.00
25年12月期	25,116		16,913		65.2	953.81

(参考) 自己資本 26年12月期第1四半期 14,436百万円 25年12月期 16,385百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	0.00	—	45.00	45.00
26年12月期	—	—	—	—	—
26年12月期(予想)	—	0.00	—	45.00	45.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,000	4.6	4,100	32.5	4,070	31.1	1,750	41.4	101.87

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当連結グループの売上高は11月前後の七五三の時期に集中することから下半期に偏重しており、上半期の業績予想が極めて困難な状況にあります。したがって、第2四半期連結累計期間の業績予想を公表していません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年12月期1Q	17,185,650 株	25年12月期	17,185,650 株
-----------	--------------	---------	--------------

② 期末自己株式数

26年12月期1Q	201,258 株	25年12月期	6,258 株
-----------	-----------	---------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年12月期1Q	17,049,392 株	25年12月期1Q	17,179,392 株
-----------	--------------	-----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビューの手続きの対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビューは終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策や金融政策を背景に円安や株高が進行し、企業収益や個人消費の改善が見られるなど、景気回復傾向となりました。一方で、中国をはじめとする新興国の経済成長の鈍化や欧州経済の長期低迷に加え、消費税率の引き上げに伴う消費低迷の懸念など、依然として先行き不透明な状況にあります。

このような状況のもと、当社グループは、主力である写真事業において、競合他社との差別化強化を図り、お客様に選んでいただけるお店になるための取り組みをおこなってまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は6,180百万円（前年同期比8.7%の増加）、営業損失は1,195百万円（対前年同期213百万円の損失増加）、経常損失は1,197百万円（対前年同期226百万円の損失増加）、四半期純損失は894百万円（対前年同期204百万円の損失増加）となりました。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

(写真事業)

写真事業は、前年も実施した「桃の節句キャンペーン」、「入園入学キャンペーン」および0歳～10歳のお子様を対象とした「みんななかよし撮影会」に加え、お子様の笑顔を撮ることに絶対の自信をもつ当社だからこそできる「百日赤ちゃん笑顔の写真絶対撮りますキャンペーン」を3月に実施し、撮影件数の獲得を図りました。

これらの取り組みにより、フランチャイズ店舗を含む全店の撮影件数は、前年同期比で115.6%となり、開店1年以上経過した既存店の撮影件数は111.3%となりました。

国内子ども写真館の出店状況は、移転3店舗を含み15店舗出店し、ショッピングセンター内の区画移動・増床を含む改装を50店舗実施いたしました。

その結果、当第1四半期連結会計期間末の店舗数は、国内子ども写真館463店舗（直営店舗453店・フランチャイズ店舗10店）、大人向け写真館1店舗、アミューズメント写真館3店舗、ペット写真館1店舗、韓国の子会社における子ども写真館6店舗、台湾の合弁会社における子ども写真館6店舗を含め、480店舗となっております。

以上の結果、写真事業の売上高は6,095百万円（前年同期比8.4%の増加）、セグメント損失は1,193百万円（対前年同期172百万円の損失増加）となりました。

(衣装製造卸売事業)

衣装製造卸売事業は、前年から取り組んでいる生産コストの低減活動を行いつつ、約25,000着にのぼる当社向けオリジナルブランド衣装等の生産を行いました。

以上の結果、衣装製造卸売事業の売上高は333百万円（前年同期比75.5%の増加）、セグメント利益は19百万円（前年同期比12.0%の減少）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末と比べ1,183百万円減少し23,932百万円となりました。

流動資産は、法人税等及び配当金の支払い等により、前連結会計年度末と比べ1,822百万円減少の8,717百万円となりました。

固定資産は、改装等による有形固定資産の取得等により、前連結会計年度末と比べ639百万円増加の15,215百万円となりました。

② 負債の状況

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比べ751百万円増加し8,954百万円となりました。

流動負債は、短期借入金の増加等により、前連結会計年度末と比べ810百万円増加の7,091百万円となりました。

固定負債は、長期借入金の減少等により、前連結会計年度末と比べ58百万円減少の1,863百万円となりました。

③ 純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比べ1,935百万円減少し14,978百万円となりました。

これは主に、第1四半期純損失及び前連結会計年度の剰余金の処分（配当金支払い）などによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結会計期間までの業績は概ね当初計画どおり推移しており、平成26年2月10日に公表いたしました当第2四半期連結会計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,616,310	4,008,473
受取手形及び売掛金	778,032	1,059,415
たな卸資産	1,102,313	1,287,043
その他	2,080,961	2,403,726
貸倒引当金	△37,200	△41,160
流動資産合計	10,540,417	8,717,499
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,157,616	6,742,131
その他(純額)	3,441,016	3,408,192
有形固定資産合計	9,598,633	10,150,323
無形固定資産	960,959	1,024,710
投資その他の資産		
敷金及び保証金	3,023,144	3,086,483
その他	1,142,247	1,109,546
貸倒引当金	△149,035	△155,735
投資その他の資産合計	4,016,356	4,040,295
固定資産合計	14,575,949	15,215,329
資産合計	25,116,367	23,932,828
負債の部		
流動負債		
買掛金	380,035	308,074
短期借入金	1,150,000	1,950,000
1年内返済予定の長期借入金	195,000	110,000
未払法人税等	597,814	133,991
賞与引当金	11,214	172,394
その他	3,947,409	4,417,316
流動負債合計	6,281,473	7,091,777
固定負債		
長期借入金	20,000	—
退職給付引当金	539,423	551,308
資産除去債務	881,825	898,794
その他	480,557	412,946
固定負債合計	1,921,806	1,863,049
負債合計	8,203,280	8,954,826

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,885,950	1,885,950
資本剰余金	2,055,449	2,055,449
利益剰余金	12,335,728	10,668,116
自己株式	△9,222	△275,592
株主資本合計	16,267,905	14,333,922
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	118,013	102,780
その他の包括利益累計額合計	118,013	102,780
少数株主持分	527,168	541,297
純資産合計	16,913,087	14,978,001
負債純資産合計	25,116,367	23,932,828

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
売上高	5,683,096	6,180,056
売上原価	5,097,888	5,740,706
売上総利益	585,207	439,350
販売費及び一般管理費	1,567,772	1,635,191
営業損失(△)	△982,564	△1,195,841
営業外収益		
受取利息	908	871
受取家賃	6,413	6,659
貸倒引当金戻入額	16,000	—
雑収入	4,833	6,338
営業外収益合計	28,154	13,869
営業外費用		
支払利息	6,299	3,989
貸倒引当金繰入額	—	7,000
為替差損	7,778	—
雑損失	2,098	4,182
営業外費用合計	16,176	15,172
経常損失(△)	△970,585	△1,197,144
特別損失		
固定資産廃棄損	12,153	99,213
減損損失	36,915	24,779
特別損失合計	49,068	123,993
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,019,654	△1,321,137
法人税、住民税及び事業税	90,409	95,487
法人税等調整額	△429,280	△536,214
法人税等合計	△338,870	△440,727
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△680,783	△880,410
少数株主利益	9,235	14,129
四半期純損失(△)	△690,018	△894,539

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△680,783	△880,410
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	33,003	△15,232
その他の包括利益合計	33,003	△15,232
四半期包括利益	△647,779	△895,643
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△657,501	△909,772
少数株主に係る四半期包括利益	9,721	14,129

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	写真事業	衣装製造卸売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,621,891	61,205	5,683,096	-	5,683,096
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	128,810	128,810	△128,810	-
計	5,621,891	190,015	5,811,907	△128,810	5,683,096
セグメント利益又は 損失(△)	△1,020,571	22,571	△997,999	15,435	△982,564

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)調整額15,435千円には、固定資産の調整額等65,590千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△50,155千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「写真事業」セグメントにおいて、店舗の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては36,915千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自平成26年1月1日 至平成26年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	写真事業	衣装製造卸売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,095,349	84,706	6,180,056	-	6,180,056
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	248,769	248,769	△248,769	-
計	6,095,349	333,475	6,428,825	△248,769	6,180,056
セグメント利益又は 損失(△)	△1,193,451	19,855	△1,173,595	△22,245	△1,195,841

(注) 1. セグメント利益又は損失(△) 調整額△22,245千円には、固定資産の調整額等29,584千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△51,830千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「写真事業」セグメントにおいて、店舗の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては24,779千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。